



FPolicy スコープの設定を計画する

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

FPolicyスコープの設定を計画する	1
FPolicyスコープ設定の概要を計画する	1
FPolicyスコープのワークシートに記入する	3

FPolicyスコープの設定を計画する

FPolicyスコープ設定の概要を計画する

FPolicyスコープを設定する前に、スコープを作成することの意味を理解しておく必要があります。スコープ構成に含まれる内容を理解しておく必要があります。また、スコープの優先規則についても理解しておく必要があります。この情報は、設定する値を計画するのに役立ちます。

FPolicyスコープを作成することの意味

FPolicyスコープを作成することは、FPolicyポリシーが適用される範囲を定義することを意味します。Storage Virtual Machine (SVM) は基本の適用範囲です。FPolicyポリシーのスコープを作成するときは、スコープが適用されるFPolicyポリシーを定義する必要があり、さらにスコープを適用するSVMを指定する必要があります。

指定したSVM内にスコープをさらに制限するためのパラメータが多数あります。スコープに含めるものを指定するか、スコープから除外するものを指定することで、スコープを制限できます。有効なポリシーにスコープを適用すると、ポリシーイベントのチェックがこのコマンドで定義したスコープに適用されます。

「include」オプションで一致するファイルアクセスイベントが見つかった場合に、通知が生成されます。「EXCLUDE」オプションで一致するファイルアクセスイベントについては、通知は生成されません。

FPolicyスコープの設定では、次の設定情報を定義します。

- SVM名
- ポリシー名
- 監視対象に含める共有または監視対象から除外する共有
- 監視対象に含めるまたは監視対象から除外するエクスポートポリシー
- 監視対象に含めるまたは監視対象から除外するボリューム
- 監視対象に含めるまたは監視対象から除外するファイル拡張子
- ディレクトリオブジェクトに対するファイル拡張子のチェックを実行するかどうか



クラスタのFPolicyポリシーのスコープには、特別な考慮事項があります。クラスタのFPolicyポリシーは、クラスタ管理者が管理SVM用に作成するポリシーです。クラスタ管理者がそのクラスタのFPolicyポリシーのスコープも作成する場合、SVM管理者はその同じポリシーのスコープを作成することはできません。ただし、クラスタ管理者がクラスタのFPolicyポリシーのスコープを作成しない場合は、すべてのSVM管理者がそのクラスタポリシーのスコープを作成できます。SVM管理者がそのクラスタのFPolicyポリシーのスコープを作成した場合、クラスタ管理者はそれ以降その同じクラスタポリシーのクラスタスコープを作成することはできません。これは、クラスタ管理者が同じクラスタポリシーのスコープを上書きできないためです。

スコープの優先規則とは

スコープ設定には、次の優先規則が適用されます。

- 共有をパラメータに指定し、共有の親ボリュームをパラメータに `-volumes-to-exclude`` 指定した ``-volumes-to-exclude`` 場合 ``-shares-to-include`` は、がよりも優先されます ``-shares-to-include``。
- エクスポートポリシーをパラメータに指定し、エクスポートポリシーの親ボリュームをパラメータに指定した `-volumes-to-exclude`` 場合 ``-export-policies-to-include`` は、が ``-volumes-to-exclude`` よりも優先されます ``-export-policies-to-include``。
- 管理者はリストと `-file-extensions-to-exclude`` リストの両方を指定できます ``-file-extensions-to-include``。

``-file-extensions-to-exclude`` パラメータは、パラメータがチェックされる前にチェックされ ``-file-extensions-to-include`` ます。

FPolicyスコープの構成要素

次に示す使用可能なFPolicyスコープ設定パラメータの一覧は、設定を計画するのに役立ちます。



スコープに含めるか除外する共有、エクスポートポリシー、ボリューム、およびファイル拡張子を設定する際に、includeパラメータとexcludeパラメータにメタ文字（「*」など）を含めることができます?" and "。正規表現の使用はサポートされていません。

情報の種類	オプション
<p>SVM</p> <p>FPolicyスコープを作成するSVMの名前を指定します。</p> <p>各FPolicy設定は、単一のSVM内で定義されます。FPolicyポリシーの構成要素となる外部エンジン、ポリシーイベント、ポリシーのスコープ、およびポリシーを、すべて同じSVMに関連付ける必要があります。</p>	<p><code>-vserver vserver_name</code></p>
<p>_ ポリシー名 _</p> <p>スコープを関連付けるFPolicyポリシーの名前を指定します。FPolicyポリシーがすでに存在している必要があります。</p>	<p><code>-policy-name policy_name</code></p>
<p>含める共有 _</p> <p>カンマで区切って複数の共有を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープに含めます。</p>	<p><code>-shares-to-include`share_name`</code>はい。</p>
<p>_ 除外する共有 _</p> <p>カンマで区切って複数の共有を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。</p>	<p><code>-shares-to-exclude`share_name`</code>はい。</p>

<p>対象に含めるボリューム： FPolicy ポリシーの監視対象となるボリュームをカンマで区切って指定します。</p>	<pre>-volumes-to-include `volume_name`はい。</pre>
<p>除外するボリューム _</p> <p>カンマで区切って複数のボリュームを指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。</p>	<pre>-volumes-to-exclude `volume_name`はい。</pre>
<p>ポリシーを含めるには _ をエクスポートします</p> <p>カンマで区切って複数のエクスポートポリシーを指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープに含めます。</p>	<pre>-export-policies-to-include `export_policy_name`はい。</pre>
<p>ポリシーを exclude_ にエクスポートします</p> <p>カンマで区切って複数のエクスポートポリシーを指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。</p>	<pre>-export-policies-to-exclude `export_policy_name`はい。</pre>
<p>_include するファイル拡張子 _</p> <p>カンマで区切って複数のファイル拡張子を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープに含めます。</p>	<pre>-file-extensions-to-include `file_extensions`はい。</pre>
<p>_ ファイル拡張子を exclude_ に設定します</p> <p>カンマで区切って複数のファイル拡張子を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。</p>	<pre>-file-extensions-to-exclude `file_extensions`はい。</pre>
<p>_ ディレクトリのファイル拡張子チェックは有効になっていますか? _</p> <p>ファイル名の拡張子の監視をディレクトリオブジェクトにも適用するかどうかを指定します。このパラメータをに設定 `true` すると、通常のファイルと同じ拡張子チェックがディレクトリオブジェクトに適用されます。このパラメータをに設定する `false` と、ディレクトリ名の拡張子は照合されず、名前の拡張子が一致しなくてもディレクトリに関する通知が送信されます。</p> <p>スコープの割り当て先のFPolicyポリシーが標準のエンジンを使用するように設定されている場合は、このパラメータをに設定する必要があります true。</p>	<pre>-is-file-extension-check-on-directories-enabled{true</pre>
	<pre>false}</pre>

FPolicyスコープのワークシートに記入する

このワークシートを使用して、FPolicyスコープの設定プロセス中に必要となる値を記録できます。パラメータ値が必須の場合は、FPolicyスコープを設定する前に、それらのパラメータに使用する値を決定する必要があります。

FPolicyスコープの設定に各パラメータ設定を含めるかどうかを記録し、含めるパラメータの値を記録しておく必要があります。

情報の種類	必須	含める	自分の価値観
Storage Virtual Machine (SVM) 名	○	○	
ポリシー名	○	○	
対象に含める共有	いいえ		
共有を除外する	いいえ		
対象に含めるボリューム	いいえ		
ボリュームを除外する	いいえ		
エクスポートポリシーを含める	いいえ		
対象から除外するエクスポートポリシー	いいえ		
対象に含めるファイル拡張子	いいえ		
対象から除外するファイル拡張子	いいえ		
ディレクトリのファイル拡張子の監視が有効かどうか	いいえ		

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。